

名古屋大学HPC計算科学連携研究プロジェクト 成果報告シンポジウム

日時: 2012年5月9日(水) 13:00-17:30
会場: 名古屋大学 IB電子情報館大講義室

【プログラム】

- 13:10-13:30 「スカラー型超並列計算機に向けたプラズマ運動論コードの性能評価」
梅田隆行(名大STE研)
- 13:30-13:50 「惑星磁気圏超並列高効率MHDシミュレーションの開発」 深沢圭一郎(九大)
- 13:50-14:10 「CReSS-SDMのFX1向け計算性能チューニング」 島伸一郎(兵庫県立大)
- 14:10-14:30 「雲マイクロ物理解明のための大規模数値計算手法の基盤技術開発」
後藤俊幸(名工大)
- 14:30-14:50 休憩
- 14:50-15:10 「適合細分化格子を用いた磁気リコネクションの大規模粒子シミュレーション」
藤本桂三(理研)
- 15:10-15:30 「変動惑星圏シミュレーション」 寺田直樹(東北大)
- 15:30-15:50 「雲解像モデル“CReSS”を用いた冬季メソスケール擾乱の高精度再現実験と
発達プロセスの解析」 前島康光(名大地球水循環)
- 15:50-16:10 「雲解像大気モデル“CReSS”を用いた局地的短時間豪雨のシミュレーション」
若月泰孝(海洋研究開発機構)
- 16:10-16:30 休憩
- 16:30-16:50 「超多自由度複雑流動現象解明のための高効率な並列計算 コード開発と検証」
石原卓(名大工)
- 16:50-17:10 「地球流体乱流の数値解析」 木村芳文(名大多元数理)
- 17:10-17:30 「壁乱流における大規模組織構造と凍結乱流仮説の数値的研究」
辻義之(名大工)

